

ほっこりだより

第71号 2014年12月7日 発行

今、平和を願う時

◎平和と逆行する時代

今、第三次世界大戦の中にいると恐ろしい発言をするドイツの学者がいます。その戦争とは、国や領土ではなく、時間の戦いです。

地球の環境破壊は進む一方です。地球の温暖化や地球資源の枯渇は洪水や飢饉と貧困をもたらします。

また、貧富や差別から格差社会が生じ、テロや暴動の原因となっています。民族や宗教の違いと重なり、大きな苦しみを生んでいます。

更に、開発途上国の医療不足からエイズやエボラ出血熱対策が遅れ、世界の恐怖となっています。今後病気に対する不安があり、未来世代に対してどうすべきか時が迫っています。

◎平和に近づくには女性の活躍から。

経済学者の浜矩子さんは「女性は戦争に対する最大の防波堤になりうる」と言われます。理由は、女性はどこにでも移動し、環境に適応し、耐久力もある。また、他者に対し、攻撃や戦いを嫌うことです。

現代社会において、男性と女性の格差が大きいのは残念です。特に日本は、世界一四二ヶ国中なんと一〇四番目という低い国です。安倍政権は法制化して女性の活躍を進めています。まだまだ先になるでしょう。

先頃、「憲法第九条」をノーベル平和賞の候補に推薦した若い主婦がいました。惜しくも今回は受賞できませんでしたが、世界で注目されました。あきらめずに次回を待つようです。

男性と女性の格差や貧富の違い、民族の差別を取り除くところに真の平和が来るのでしょうか。クリスマスはマリヤという若い女性が主役です。そしてイエス・キリストが生まれた時、

「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」とたたえられました。(ルカ一：十四)

◎平和を与えるために来られたキリスト。

キリストは「わたしは、あなた方にわたしの平安(平和)を与えます。わたしが与える平安は、この世が与えるのとは違います。」と言われました。

その平和は、罪からの救いです。戦いや争いの原因の一つは、他者を押しつけ、無視する欲望があります。隣人を愛することはキリストの最大の教えでした。自ら命を捨ててまで実践されました。甘い考え、馬鹿げていると言われても夫婦や家族、地域、会社の中で必ず問われることです。

更にキリストは和解のために来られました。争いや対立は両者の間に壁ができます。その壁を打ち壊すことばできるなら、和解ができます。人は、もともと自分中心で生きたい、他人には干渉されたくない思いがあります。すべての創造者である神も無視して関係ないと壁を作ります。その壁を取り除かれたのがキリストです。

「キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ち壊された。」(エペソ二：十四)

この実現のために十字架に架かられました。敵意は十字架によって葬り去られたのです。

クリスマスは、地上に平和がもたらされるように神の御子イエス・キリストが我々に遣わされたことを祝う日です。

まず、キリストを受け入れ、身近な家族や隣人の中で、自分にやって欲しいことを他の人に為してみようではありませんか。そこに平和が生まれるのです。

教会案内図です



教会のバザーを楽しむ

今年も十月二十六日の午後、恒例のバザーを開催しました。教会のホームページを見て、来られた方もいました。通りの看板を目にされて来られた方もいますが、一番多く見えたのは、毎年の常連の方々です。

午後一時の開始を待つようにして来られ、お好きなものを手にされていました。リサイクルされた物が再び役に立つことは嬉しいことです。

人気の物は手作りの食べ物でしょう。おはぎやお稲荷さん、さんまの煮つけ、野菜の煮つけ、ケーキなどたちまち売れてしまいました。

コーヒESHOPPがあり、ケーキとコーヒで百五十円と安く美味しいセットです。品物を買った後で立ち寄ってください。

一年間、不用品を教会で保管して並べますが、バザーが近づくと近所の方々が提供して下さいます。

今回の売上の中から向日市社協と大阪西成の教会に寄付しました。それぞれ、役立てていただいています。

来年は、少し内容を変えてより楽しいバザーを考えています。



バザーを楽しんでいるの方々

日本に三番目の景教碑を建立

去る十一月三日、愛知県春日井市の教会に日本で三番目となる大秦景教流行中国碑が建てられました。高さ3・7m。重さ8tの大きな碑です。紀元781年に作られた本物の碑は、中国の西安市の博物館に大切に保管されています。日本では、高野山と京都大学に複製の碑が設置されています。

なぜ、この碑が重要かと言いますと、キリスト教が7世紀にはシルクロードを通り、唐時代の中国に伝えられ、景教（大きな光の教え）と呼ばれて多くの信者がいたことを示すからです。

碑文の内容は、第一に、聖書の教理（神の天地創造、アダムとエバの存在、人間の罪とキリスト誕生と救い教会の誕生）が書かれています。次には、当時の皇帝に受け入れられたこと。そして、布教に貢献した70名の指導者の名前が刻まれています。

日本との関係は、804年に中国に渡った遣唐使の空海はこの碑を見て、学んだと思われます。空海の言葉や儀式に聖書と似ている部分があるからです。

古く、京都に渡来人が来て景教を伝えたことも大秦寺や蚕の社の歴史から想像されますが、尚、調査研究が待たれます。景教碑は石に書かれたキリスト教のパンフレットであったと言えるでしょう。



教会の入り口に建てられた碑

俳句

満月をつれて家出の猫もどる
夕すきあまたの光つかみたる

短歌

生まれたての君のくしゃみが大好き
で

一度たりとも見逃すまいぞ
年老いて姑は恵比寿の顔となり

吾はようやく過去を手ばなす

今後のイベントを
紹介します。

◎十二月のイベント

十三日（土）午後七時より。京阪奈教
団クリスマス会

二十一日（日）キャンドルサービスと
午後の祝会

◎一月のイベント

一日（木）午前十一時。元旦礼拝
十一日（日）恒例のもちつき大会。御
一緒にお楽しみ下さい。

◎二月のイベント

二十二日（日）午後三時より。京都ケ
ズイック大会。在日大
韓京都教会